

平成 25 年度農村環境の未来を考える研修会 vol.6

「農業・農村の発展」を探る！

研修会に県内活動組織リーダーら 800 人

本年度の農村環境の未来を考える研修会が11月21日、山口市吉敷下東の県総合保健会館で開かれた。県内各地で農地・農業用水などの資源の保全管理や地域のコミュニティの維持などに取り組む活動組織のリーダーら約800人が参加し、事例発表や基調講演などで将来に向けた活動のあり方を考えた。県農地・水・環境保全向上対策協議会主催。

農水省の農地・水保全管理支払交付金事業として、2007年度から開いており、6回目。県内には約300の活動組織があり、同事業で農地・水路などの保全管理活動などへの共同活動支援交付金、農業用施設の長寿命化の活動などへの向上活動支援交付金による支援を行っているという。

同協議会の吹田愷会長が「農村地域は過疎化、高齢化、後継者不足が進行し、農地や農業施設、農村環境の保全が困難になっている。

活動組織の皆さんには農業や農村の持続的発展を図る多くの実績と効果を上げるため、さらに尽力してほしい」とあいさつ。

今回初めて設けられた同協議会会長賞として、周南市大通理鹿野地集落の棚田約1ヘクタールにシバザクラを植栽して農村景観の向上を図っている向道環境保全会が表彰された。

事例発表では、昨年度農地・水保全管理支払交付金中国四国農政局長最優秀賞を受賞した山陽小野田市の平沼田の環境を守る会の活動が報告された。

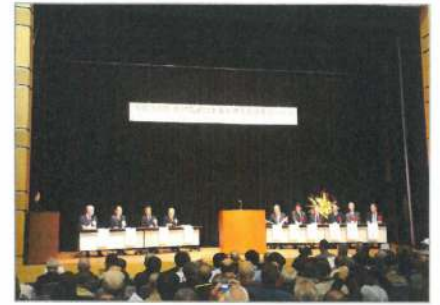
基調講演では、石川県羽咋市教委文化財室長の高野誠鮮さんが「ローマ法王に地元米が献上されるまで」と題し、限界集落の再生・活性化に奔走した経験談を語った。

(平成 25 年 11 月 22 日 山口新聞)



吹田会長より 山口県農地・水・環境保全向上対策協議会会長賞表彰を受ける向道環境保全会の井上副代表

H25.11.21 NHK「情報維新！山口」や KRY「スクープアップやまぐち」で放映されました。



テーマ 水・土・人・暮らし

すばらしい自然や文化が数多く残る農山漁村！
そこは、わたしたちの心を癒すやすらぎの地であり、我々が失いかけている、かけがえのない宝が存在する聖地。
農作業を営む人々や生き物たちの豊かな表情、子どもたちの澄み渡る笑顔やわたしたちを優しく包む農山漁村の情景など・・・。
あなたの“感動”、“守り続けたい！”を教えてください。
多数のご応募をお待ちしています！

★ 応募規定 ★

- 応募資格：山口県内にお住まいの方
- 作品規格：Lサイズ
- 応募方法：裏面に貼付して送付してください
- その他：山口県内で撮影した未発表のものに限ります
- ＊応募作品は返却いたしません
- ＊作品の著作権は主催者に帰属するものとします
- ＊入賞作品については、ネガまたはソフト、画像データの提供をお願い致します

★ 入賞 ★

＜一般の部：高校生以上＞

- 山口県知事賞：1点（賞状、賞金10万円）
- 山口県地球人会議会長賞：1点（賞状、賞金5万円）
- 水士農ネット山口会賞：1点（賞状、賞金5万円）
- 山口新聞社賞：1点（賞状、賞金2万円）
- 中国新聞防長本社賞：1点（賞状、賞金2万円）
- 入選：10点程度（賞状、記念品）

＜児童・生徒の部：中学生以下＞

- 山口県地球人会議会長賞：1点（賞状、記念品）
- 優等賞：3点（賞状、記念品）
- 入選：数点（賞状、記念品）

★ 発表 ★

本人に直接通知するとともに、新聞紙上で発表します。

★ 応募・お問い合わせ ★

水士農ネット山口 総務部総務企画課

〒753-0079 山口市米沢 2-13-35 : TEL (083) 933-0033

主催：食料・環境・ふるさとを考える山口県地球人会議、山口県、水士農ネット山口
協賛：山口新聞社、中国新聞防長本社

応募締切
平成25年12月31日
(当日消印有効)